

令和3年2月3日第2回通常理事会承認議決

令和3年度
(第10事業年度)

事業計画

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで

公益財団法人ソルフェージュスクール

「令和3年度事業計画」目次

要旨	1
<<事業活動>>	
ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業1）	
1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営	
(1) ソルフェージュに関する指導等および各種楽器、声楽等の実技指導	
【ソルフェージュ、器楽及び声楽のレッスン】	2
【合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】	3
【コーラス“レ・グルヌイユ”のレッスン】	3
【子どものコーラス“レ・テタール”のレッスン】	3
【音遊びする“ウフフ・リトミック（仮名称）”のオンラインレッスン】	3
【“ソルフェージュ&ABC”のレッスン】	3
【リコーダーアンサンブルのレッスン】	3
【春のミュージックキャンプ】	4
【夏季合宿】	4
【楽しくアンサンブル】	4
【大人の音楽の時間】	4
(2) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及	
①特別プロジェクト	
【ソルフェージュスクール創立60周年記念演奏会】	5
②通常プロジェクト	
【ソルフェージュスクール演奏会】	5
【前期おさらい会】　【後期おさらい会】	5
【研究会】　【試演会】	6
【講師によるコンサート】	6
【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】	6
③地域プロジェクト	6
(3) ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等「広報」と充実	7, 8
2. 音楽ホール、練習室の貸与	8
3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、後援会開催	8, 9
4. レッスンに使用する楽器の修繕	9
<<管理部門>>	
1. 法人としての諸会議	10
2. 公益財団法人の情報公開	10
3. 業務執行体制の強化	10

要 旨

昨年度コロナ禍の影響により低調にならざるを得なかった音楽教育を立て直していく。コロナ禍においては、工夫しながらの対面授業、オンライン授業、さらにはレッスン内容を録画した YouTube による在宅授業等を試み、好評を得た。こうした多角的な音楽指導方法については、コロナ禍が収束したとしても引き続き考慮していきたい。

困難な時期だからこそ音楽が心を温かく、豊かにしてくれることを強く伝えて、当財団の公益目的である「幼児から大人まで幅広い年齢層への音楽指導を通して豊かな心を持つ人材の育成」に邁進していく。心のケアも必要になるため、一人一人の生徒へ、音楽指導と合わせて丁寧な対応をしていく。

各クラスのレッスン内容は基より、とくに未就学児の音遊びクラス「ウフ」、子どものコーラスクラス「レ・テタール」、ソルフェージュと英語の融合クラス「ソルフェージュ&ABC」及び大人のための「大人の音楽の時間」を充実させていきたいが、コロナ禍等の困難な事態に於いては各クラスの実施内容・方法の変更については柔軟に対処していく。とくにウフについては、オンラインリトミックとして前向きな形態変更をして開講する。

また、令和3年（2021年）は当スクールの創立60周年なので、その記念演奏会を特別プロジェクトとして開催したいが、コロナ禍の終息状況の見極めが困難なので、次年度に開催を延期することにする。

少子化問題による生徒減少の傾向に加え、コロナ禍による全国的な経済状況の悪化により音楽教育界の低迷はしばらく続き、新規生徒の確保が困難であることは変わらないと考えられるので、コロナ禍でより身近になった web を活用してホームページ、facebook の広報内容を充実させ、当財団の音楽教育の周知を図り、新たな生徒獲得策を強化していく。

昨年に引き続き、財政面においては篤志家の援助もいただきながら、事業の充実を図ると共に経費削減の努力を継続する。

《事業活動》

ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業1）

1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

当財団の運営するソルフェージュスクールにおいて下記の事業を行う。

(1) ソルフェージュに関する指導等及び各種楽器、声楽等の実技指導

ソルフェージュの研究の促進及び指導者育成を目的として研究者、指導者及びこれから研究、指導を目指す者、また関心のある一般を対象とした研究発表会、講習会、音楽会等を開催する。いずれも一般に公開する。なお、これら事業内容の具体的な実施の詳細については、毎月の運営委員会で決定する。

当法人が開発したソルフェージュジェットやリズムカード及び以前フランスで使われていた教本を翻訳・復元した教材等を用い、ソルフェージュスクールカリキュラムに沿って、具体的にリズム・拍・音程を習得させ、読譜力・視唱力・聴音力を身に付けさせる。それに器楽、声楽等の実技指導及び年数回の特別講習会を加え、音楽文化の理解を深めさせつつ実技を習得させる。

また、コロナ禍等の対面・集合レッスンが困難な状況下では、工夫した対面レッスン方法や集合しないで学ぶ方法—例えばビデオの活用、オンラインレッスン等—を柔軟に取り入れることを考慮する。

各レッスンの受講費は別途入室案内に掲載しているが、通常レッスンが困難な状況下ではその変更について柔軟に対応する。

【ソルフェージュ、器楽及び声楽のレッスン】

1 学期	4 月 6 日（火）～7 月 21 日（水）
2 学期	9 月 7 日（火）～12 月 24 日（金）
3 学期	1 月 11 日（火）～3 月 19 日（土）
	* 3 月 23 日（水）水曜日 40 回目
	* 3 月 24 日（木）木曜日 40 回目

*原則として、週1回のレッスンとし、夏季レッスン日各曜日各1回を含め、年間合計で41回を予定。

【月2回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】 一般対象

*成人受講生対象で月2回の日曜日、弦楽合奏のレッスンと小グループによる室内楽のレッスンを行う。

*原則として月2回とし8月は休み。年間合計で22回を予定。

【コーラス“レ・グルヌイユ”のレッスン】 一般対象

*成人受講生対象で月1回土曜日に行う。年10回を予定。（状況によりオンライン）

【子どものコーラス“レ・テタール”のレッスン】 一般対象

*小学生から高校生対象で月1回土曜日または日曜日に行う。年10回を予定。（状況によりオンライン）

【音遊びする“ウフフ・リトミック（仮名称）のオンラインレッスン】 一般対象

*昨年度までの音遊びするプレソルフェージ“ウフ”を基にし、コロナ禍でも集まらずに行えるオンラインリトミック“ウフフ・リトミック（仮名称）として新規開講。

*0歳児から5歳児とその保護者を対象で月1回行う。年10回を予定。

【“ソルフェージ&ABC”のレッスン】 一般対象

*小学校1～3年生を対象で月1回土曜日または日曜日に行う。ソルフェージと英語のコラボ。年10回を予定。（状況によりオンライン）

【リコーダーアンサンブルのレッスン】 一般対象

*成人受講生対象で月1回。曜日及び時間は参加者が相談して決める。

【春のミュージックキャンプ】 一般対象

令和3年3月27日（土）、28（日）2日間 当法人ホール及び教室

普段の個人レッスンではなかなか取り組めないアンサンブルの経験を積むための2日間の講座。受講生の組合せを工夫し、様々なグループで用意された曲を勉強する。2日目の最後に発表会コンサートを開催する。

ただし、コロナ禍の状況により開催の可否、開催方法等を検討する。

【夏季合宿】 一般対象

日程・場所は未定

中学生以上を対象として毎年行う合宿。春のミュージックキャンプより一層深く曲に取り組み、演奏発表を目標にして、2人のアンサンブルから全員による合奏まで様々な形の曲を勉強する。合宿という共同生活の中でアンサンブルや合奏を通じて、音楽の勉強に留まらず、相手への思い遣りなどを自然に身に付けられるようなプログラム構成を考えている。また、合宿の成果を参加者全員で発表するコンサートを開き、一般に公開演奏する。

ただし、コロナ禍の状況により開催の可否、開催方法等を検討する。

【楽しくアンサンブル】 一般対象

夏季	7月22日（木・祝）	当法人ホール及び教室
冬季	11月23日（火・祝）	同上

小3以上を対象とし、初見で演奏する力を養うためのアンサンブルによる1日の講座で7月と12月の2回開催する。個々の参加者の実力に合わせて無理なく楽しく、初見と共にアンサンブルの体験を積むように指導者が導く。複数回受講経験者の初見及び音楽的な演奏の進歩には顕著なものがある。

ただし、コロナ禍の状況により開催の可否、開催方法等を検討する。

【大人の音楽の時間】 一般成人対象

秋期に当法人ホール及び教室にて開催予定。

ただし、コロナ禍の状況により開催の可否、開催方法等を検討する。

(2) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及

① 特別プロジェクト

【ソルフェージュスクール創立60周年記念演奏会

開催日時及び会場は未定】(有料)

創立以来5年毎に外部会場でゲスト演奏家等を交えて開催する、ソルフェージュスクールの周年記念演奏会。

今回は、とくに10年周期の演奏会として内容の充実を図りたいが、コロナ禍の終息状況の見極めが難しく会場の確保もままならない事態である。開催時期を次年度に延期してソルフェージュスクール演奏会を絡めて行う可能性やプログラムの構成内容について熟慮していく。

② 通常プロジェクト

☆いずれのプロジェクトも実施の可否及びプログラムの内容や開催方法の変更についてはコロナ禍の状況により適宜判断せざるを得ない。

【ソルフェージュスクール演奏会 7月4日(日) 日本橋公会堂】

ソルフェージュスクールの受講生全員が、リトミック、室内楽、器楽合奏、弦楽合奏、合唱等のいずれかに出演する、外部のホールで催す年1回の定期演奏会。来場者がスクールの教育を大観し、ソルフェージュの教育を理解する重要な機会として位置づけている。

年1回、通常は異なる日に受講しているソルフェージュスクールの受講生が一堂に集まり、数回の合同練習を通して普段学習しているソルフェージュスクールでの成果がいかにかに活かされるかを体感し、また聴衆前で発表するというプロセスを学ぶ。幼児のソルフェージュ及びリトミッククラスのデモンストレーションもあり、これらを一般公開してソルフェージュスクールの教育のあり方を提示する。

【前期おさらい会 10月31日(日) 当法人ホール】

【後期おさらい会 令和4年3月21日(月・祝) 当法人ホール】

10月と3月の前後期に分けて開く発表会で、器楽、声楽を学ぶソルフェージュスクールの受講生の演奏を一般公開し、本校での教育の特徴を見てもらう。

器楽、声楽を学んでいる受講生(主に個人レッスン)は少なくとも年1回は人前で演奏披露することで、普段とは違う学習と練習を体験する大切な場であり、また生徒同士、父兄、教師にとっては個人レッスンの進捗状況を知る良い機会である。

【研究会 9月と2月に開催予定 当法人ホール及び教室】

ソルフェージュ、器楽の教授方法、教本の使い方や生徒への対応の仕方など、時々のテーマを設けて講師一同が意見の交換をしてレッスンの質の向上を目指すための研究会であり、年2回開く。一般に公開。

【試演会 日程未定 当法人ホール】

講師有志等の独奏或いはアンサンブルによる演奏を聴き合い、日頃教える立場にある者がお互いに具体例をもって意見を述べ合うことで良い研修の機会とする。講師が自発的に企画し実施する。原則として非公開で行う。

【講師によるコンサート】

＜春のコンサート 4月29日（木・祝） 当法人ホール（有料）＞

＜クリスマスコンサート 12月19日（日） 当法人ホール（有料）＞

春と12月に開く講師及びゲスト演奏家を交えての演奏会。

「音楽は、ソロだけではなく合奏の楽しさを味わい、音楽の喜びを得る」というソルフェージュスクールの目標のひとつを、ソルフェージュスクールの講師が自らの演奏によって、より多くの方へ伝えるためのコンサートである。ゲスト演奏家を交える。

【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】 一般対象（原則として有料）

夏季あるいは冬季に、ソルフェージュスクールで学び、現在アメリカで活躍中のヴァイオリニスト・亀井由紀子氏を講師として招き、特別講習会を開く予定。近年継続して開いてきた「亀井由紀子公開特別レッスン」がたいへん好評で、ソルフェージュスクールで育まれたソルフェージュ音楽教育の成果、恩師ヤッシャ・ハイフェッツから得た技術及び音楽に対する姿勢等をさらに多くの人へ伝えていくことができる。

③ 地域プロジェクト

児童及び高齢者を対象とした地域プロジェクトへ協力（講師派遣等）する。

昨年度に引き続き、豊島区のNPO法人富士見台ひろば主催のクリスマスコンサート等への協力。

(3) ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等広報の充実

ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜、楽器を購入すると共にソルフェージュの普及のため研究成果及び教育内容などの出版を行う。また授業、事業活動及び法人運営資料等についてはホームページに掲載する。ホームページの内容充実と更新を継続し、タイムリーな情報発信を facebook 等で行う。

① facebook 等の SNS の活用

ホームページとは別に、facebook 等の SNS を連携させて情報発信をすることにより、タイムリーで詳細なソルフェージュスクールの事業内容を広報することができるようにする。

② ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜等の購入

③ 「ソルフェージュスクール News Letter」の発行

年 5 回 行事の報告及び予告等当スクールの活動をタイムリーに広報する。
一般に無料配布

④ 独自に発行したソルフェージュ指導楽譜を教材として使用し、一般に実費配布

シャセバン 1 ￥550- (税込)

シャセバン 2 ￥600- (税込)

シャセバン 3 ￥432- (税込)

⑤ 新しい指導教材の開発・研究

他分野の研究グループ等と連携して、ソルフェージュト新版等の指導教材の作成・検討を継続する。

⑥ ソルフェージュ教育の理念を著した冊子の発行 (一般に実費配布)

当財団の設立者たちがソルフェージュ教育の理念について書き残した文書類の整理を昨年度に引き続き行う。

できるだけ早急に公開できるように、分冊発行を試みる。

⑦ ホームページの充実

広報力の強いホームページとする。更新間隔の短縮に努め、迅速な情報伝達を強化する。音楽を心の糧にし、音楽で豊かな心を育むことで人間性を高め、日本の音楽文

化を進化させていけることを強く訴える。内容を濃くすると共にわかりやすくアピール力のある表現となるよう工夫を重ねる。

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、各事業報告書及び収支計算書・貸借対照表他並びに各事業計画書及び収支予算書を公開する。

コロナ禍等で対面レッスン、演奏会に支障を来す場合にも柔軟に対処できるよう多様・多角的な伝達方法としてホームページを充実させ活用していく。

⑧ 他のデータシステムとの連携

文部科学省関係法人名鑑及び音楽教育関連データシステム等に登録をして当財団の周知向上を図る。

⑨ コロナ禍等の困難な事態にも柔軟に対応できる態勢の構築

対面による指導・会議等が困難な場合に、オンラインレッスン、オンライン会議、オンラインデータの開示等々を柔軟に取り入れていく。

2. 音楽ホール、練習室の貸与

当財団の所有するホール及びピアノの設置された教室（練習室）を、当財団が使用していない時間に、当財団の事業及び公益目的に合致する者に低廉な対価で貸与する。

ただし、コロナ禍等の特殊で困難な状況では、諸般の情勢を慎重に勘案して貸与の可否を決める。

* 随時受付、費用は別途料金表に公開している。

3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催 一般対象（無料/有料）

コロナ禍等の困難な状況下では、対面・集合しないで学べる形態—例えばビデオの活用、オンラインレッスン等—を柔軟に取り入れることを考慮する。

【合奏及び室内楽演奏法】 原則として月1回 当法人ホール

室内楽授業を、原則として月1回、一般に無料聴講できるように公開し、合奏及び室内楽の演奏法を習得してもらうと同時にソルフェージュ教育の成果を実感してもらう。

【講習会・講演会】

演奏技術のみならず演奏家の逸話、音楽史等々広範囲な内容とする。

海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流の場として開催予定の講習会はこの一般向け講習会を兼ねる場合もある。

4. レッスンに使用する楽器の修繕

3階ホールのグランドピアノをかなり大規模に修繕調整する必要がある。かなり多額となる費用を寄付で調達する予定である。

《管理部門》

1. 法人としての諸会議

定款の規定に基づき、評議員会及び理事会等を開催する。

定時評議員会は令和3年6月に1回、通常理事会は令和3年5月及び令和4年2月の2回、それぞれ開催予定である。また、必要に応じ臨時役員会を開催する。

コロナ禍の影響を受ける場合は、昨年度と同様にオンライン会議による開催も考慮する。

2. 公益財団法人の情報公開

現在公開中のものに加え、令和2年度事業報告書及び計算書類等、令和3年度事業計画書及び収支予算書等をwebサイトで情報公開する。

また、年5回発行予定の「ソルフェージュスクール News Letter」で当スクールの活動状況を公開する。

3. 業務執行体制の強化

業務執行体制を強化して、昨年度来のコロナ禍で低調な運営状況の回復に全力を注ぐ。また、コンプライアンスの強化に努める。